

文化博物館だよりNo.74

みなさん、こんにちは。

中学校ではトライやるウィークの準備が着々と進んでいるようで、博物館には明石市内の中学校から10名の中学生が職場体験に訪れる予定です。

1. 2005 郷土作家シリーズ「花房完昇展 幻想の詩情」 5月21日(土)から

花房完昇氏は昭和29年長崎市で生まれました。大阪教育大学卒業後、教師として働きながら創作活動を行なっています。1986年からは明石市教育委員会に所属し、市内の小中学校教諭や博物館職員として美術教育に関わってきました。その間1993年に安井賞入選、1999年には川の絵画大賞、金山平三賞を受賞、また2005年の「兵庫国際絵画コンペティション」で入選するなど画家としても活躍を続けています。(現在、錦城中学校教頭として毎日、奮闘中です)



ノア漂着(2004年)



海と大地と空と(1997年)



展示準備の進む会場

旧約聖書に登場し、人々の驕りの象徴ともされる「バベルの塔」をモチーフに科学に依存する現代社会への警告を、緻密な筆致で描き続ける花房完昇氏の幻想的な世界を、約20点の作品を通してご紹介します。(期間中、展示替えあり)

作品のほとんどが俯瞰(ふかん)図であり、100号を超える大作も多く、会場内で絵を見ていると、空中に浮かんでいるような錯覚を感じるかもしれません。迫力満点の画面が迫ってきますよ。

2. 関連イベント ガラリートーク

花房完昇さんが、ご自身の絵画のテーマや個々の作品に込めた思いを解説します。



自宅アトリエにて

日時 : 6月5日(日)14:00~

場所 : 当館2階会議室と特別展示室

申し込み: 電話受付中(定員30名)

要観覧料

明石市立文化博物館
編集:永田 浩史